

木造耐震デバイス販売開始

柱に取り付け補強が可能

NSハイパーツ

NSハイパーツ(岐阜県可児市、橋本伸一郎社長)は、既存木造住宅の柱に取り付けることで耐震補強が可能となる「NS木造耐震デバイス」の販売を開始した。耐震改修時に同デバイスを柱間に取り付けることで、構造合板張りと同

等の性能(壁倍率2.5)を確保する。天井や床を剥がすことなく簡便な施工法のため居住者が住みながら施工できる。また製品重量は1枚5キ程度と軽量で、施工者が1人で取付けでき、1人で1日1壁の施工が出来ることから改修コストの大幅削減も可能。



コストの大幅削減も可能。

製品の材料は日本製鉄のスーパードायマを使用し、日本製鉄が自動車部品

た最新のプレス加工技術を用いて生産する。最新の高耐久鋼材を用い、鋼の特性を活かした形状を追求し、鋼の最新加工技術を活用して木造住宅の安全性を高める。

今年3月に愛知建築地震災災害軽減システム研究協議会の木造耐震改修工法評価を取得しており、富山、長野、静岡以西の23府県で耐震不適合住宅の耐震改修補助金利用も可能となっている。

製品シリーズは3寸柱用(30HR)と3.5寸柱用(35HR)の2種類で、1壁あたりの施工価格は2枚セットで8万円程度。

NS木造耐震デバイス施工後

成型用に開発し